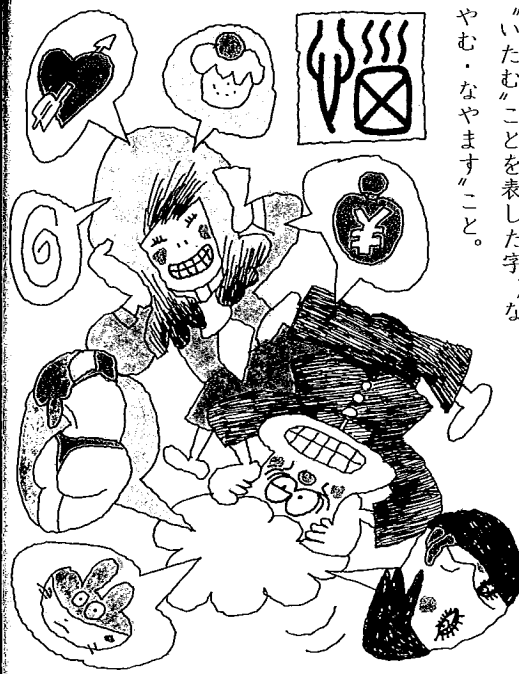


悩

おん ノウ
なやむ・なやます

10画
悩悩悩悩悩悩

なりたち 旧字体は惱。脳の象形で、頭の意味の惱と、心の意味のノとの会意形声字。頭を使い心を遣い、頭や心が「いたむ」ことを表した字。「なやむ・なやます」こと。



いみじゆく

▼心が痛む。なやむ。
苦悩：苦しむ悩むこと。【用例】苦悩の一夜を明かす。(苦悩のために一晩中眠れない様子)。
煩悩：仏教で、人間を悩ませる種々の欲望。
悩乱：悩んで心が乱れること。また、悩んで心を乱すこと。

よみかた 悩殺

悩快

快

おん カイ
こころよい

7画
快快快快快

なりたち 弓の弦(一)に、弓を射る時に使う手袋(コ)を使つた手(又)をかけた夫(快)と、心の意味のノとの会意形声字。矢を放つ瞬間の「さわやかな心」を表した字。「こころよい」こと。



いみじゆく

▼こころよい。
愉快：楽しくて快いこと。【用例】愉快な旅行。
不快：快くないこと。【例】不快指数

痛快：非常に気持ちが良いこと。【用例】痛快な冒険小説。
快感：快い感じ。
快活：愉快で活発なこと。朗らかで活気があること。
快適：快く具合の良いこと。【用例】快適な住居。

その楽しみ。
快晴：快く晴れた天気。雲一つなく晴れた天気。
▼非常に速いこと。
快速：非常に速いこと。【用例】快速列車

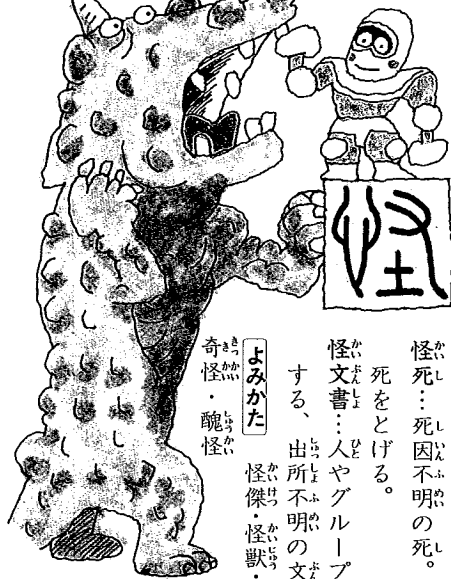
よみかた 快拳・快勝・快走・快足・快諾・快調・快方・快癒・軽快・豪快・全快・明快

怪

おん カイ
あやしむ・あやしむ

8画
怪怪怪怪怪

なりたち 土地を耕す意味の怪と、心の意味のノとの会意形声字。土地を耕作すると、土地のもつ不思議な力に心打たれる。不思議に思う心を表した字。「あやしむ・あやしむ」こと。



いみじゆく

▼あやしむ。あやしむ。
怪奇：①怪しく不思議なこと。②格好が不気味なこと。グロテスクの訳語。
怪異：怪しく不思議なこと。
怪物：①怪しい物。化け物。②体格や能力が異常にすぐれた人。
怪談：妖怪(怪)や幽霊などの話。
怪盗：神出鬼没の盗賊。なかなかつかまらぬ盗賊。
怪火：原因不明の火事。
怪死：死因不明の死。【用例】怪死をとげる。
怪文書：人やグループを中傷する、出所不明の文書。

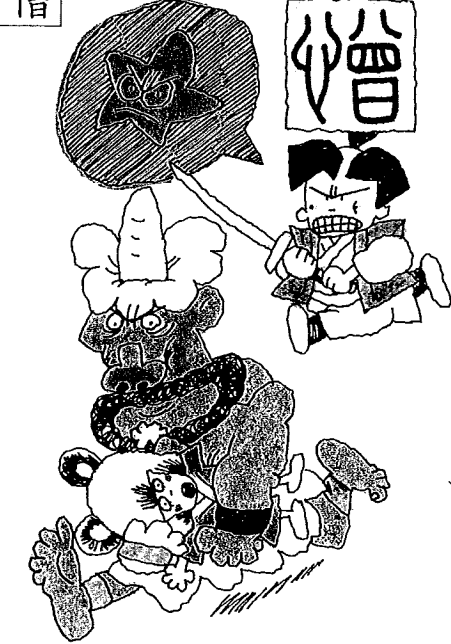
よみかた 奇怪・醜怪

憎

おん ゾウ
にくむ・にくむ

14画
憎憎憎憎憎

なりたち 旧字体は憎。積み重ねた蒸し器の象形である曾(一)と、心の意味のノとの会意形声字。重なり積もった心という意味の字で、「にくしみ」の心を表した字。「にくむ・にくむ」こと。



いみじゆく

▼にくしみ。にくむ。
愛憎：愛と憎しみ。愛することと憎むこと。好き嫌い。
【用例】愛憎の念が甚だしい。(感情が激しくて、好き嫌いの差がひどいこと)。
憎悪：非常な憎しみ。また、憎み嫌うこと。「悪」には、憎み嫌う意味がある。【用例】憎悪の念を燃やす。(憎しみの気持ちを抱き続けること)。
憎しみの感情を火にたとえたことば)。

怪憎

憎

おん ゾウ
にくむ・にくむ

